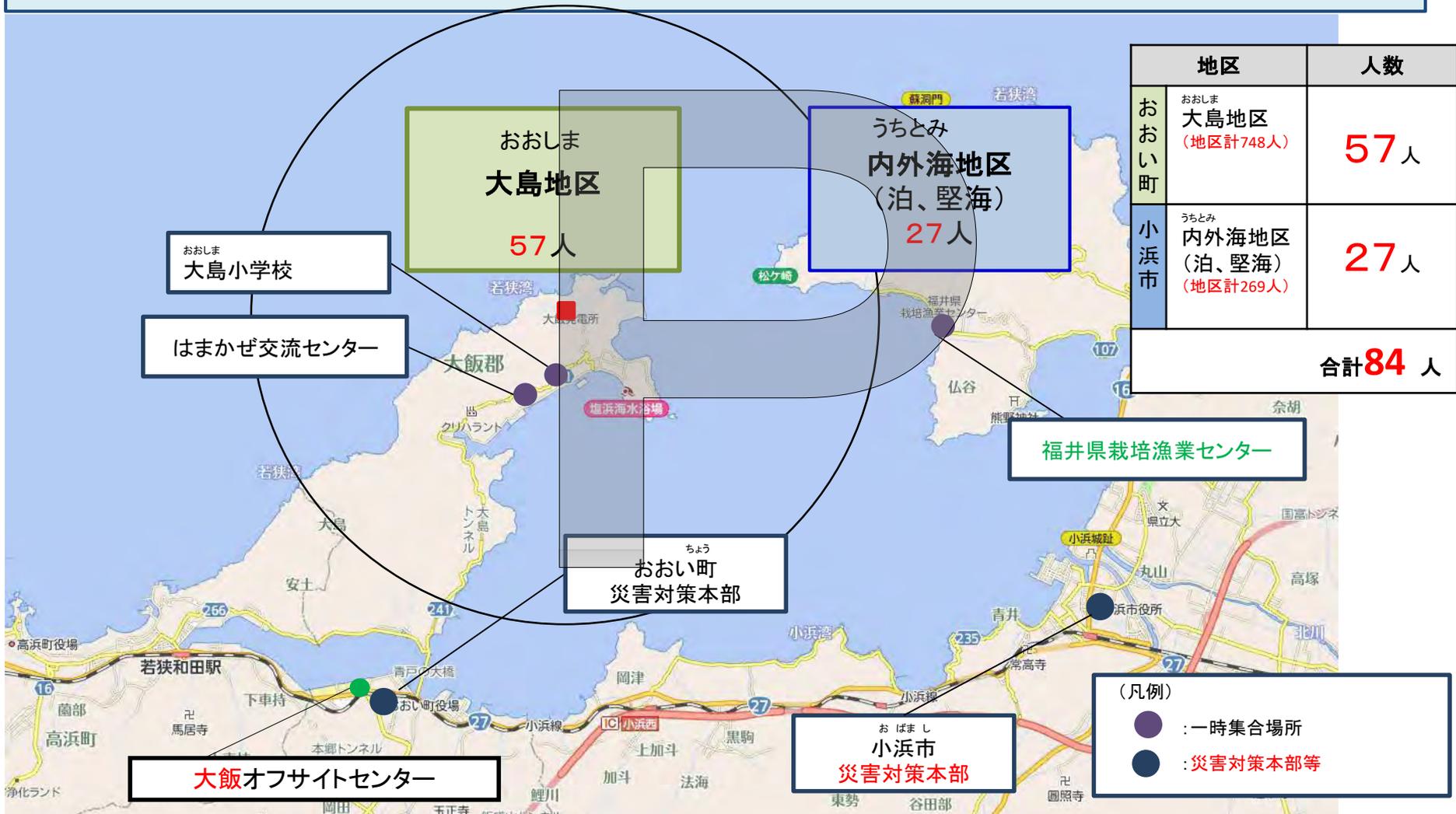


➤ おおい町、小浜市によるアンケート調査の結果、両地区における自家用車で避難できない住民は合計xxx人。



※1 不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合、実動組織(警察、消防、海保庁、自衛隊)に支援を要請

➤ PAZ内の観光施設における日間入場見込み人数は1,343人程度、民間企業は存在しない。

<PAZ内の観光施設の状況>

地区名		施設	入場見込人数(人)
おおい町	大島地区	赤礁崎オートキャンプ場	729
		あかぐり苑地	355
		あかぐり海釣公園	259
			計 1,343人
小浜市	内外海地区(堅海、泊)	—	—
			計 0人

※入場ピーク時(8月)の入場者数を基に算定

※出典先記載をお願いします

[合計] 1,343人

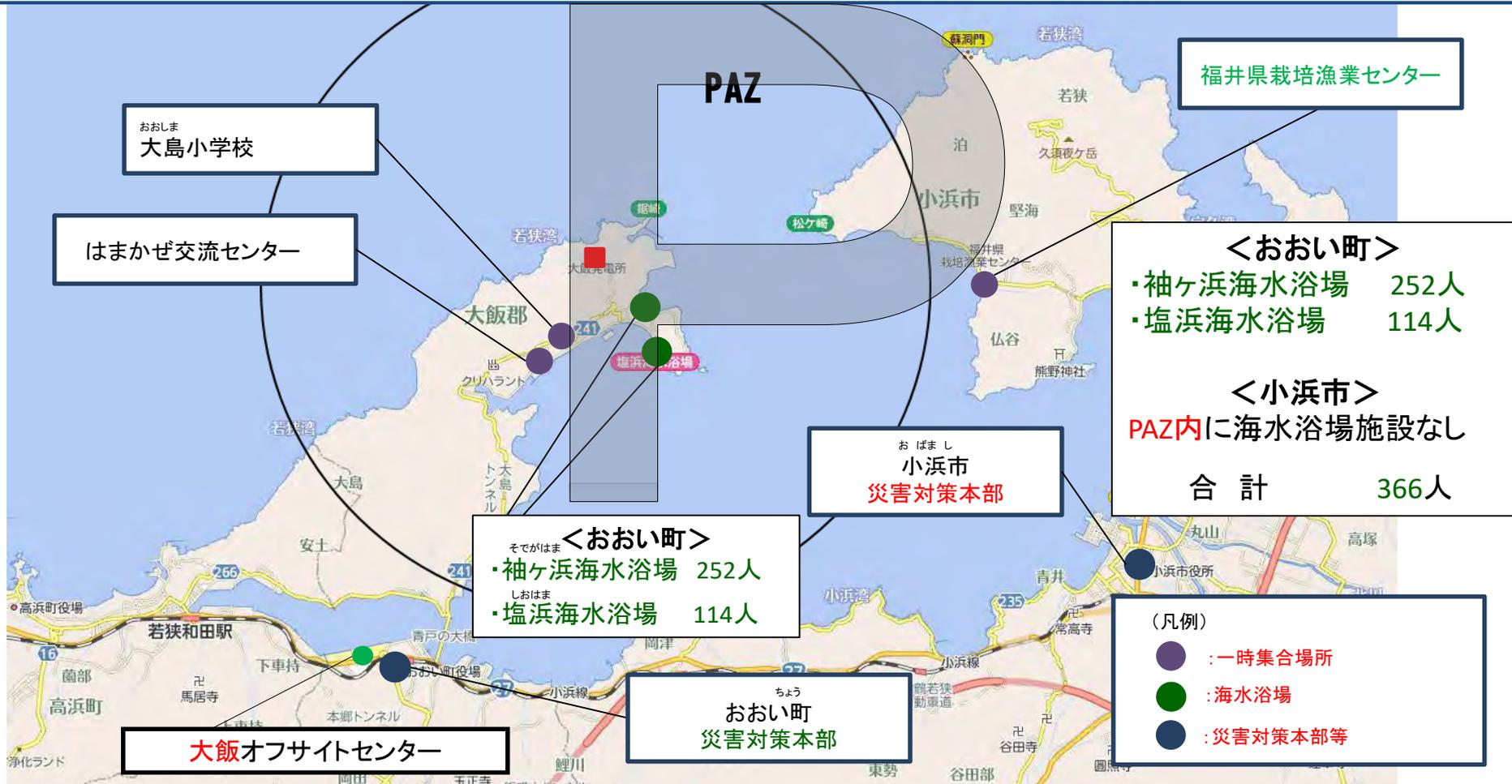
<PAZ内の民間企業(従業員30名以上)の状況>

大島地区内・内外海地区に、発電所関連以外で、従業員30人以上の規模の事業所なし。

※出典平成26年版でお願いします

PAZ内の海水浴場及び入場者の数

- おおい町及び小浜市ではPAZ内に海水浴場が2ヶ所あり、平成27年度シーズンの1日あたりの最大入込客数は約366人。
- おおい町及び小浜市の海水浴客の交通手段は、対象となる海水浴場周辺の駐車場利用率によると全体の9割以上が自家用車利用で、貸切バス及び公共交通機関の利用は1割に満たない。(平成27年度観光客入込調査 おおい町、小浜市)



- 全面緊急事態で必要となる輸送能力は、自家用車で避難できない住民、観光施設から避難する一時滞在者、海水浴場から避難する一時滞在者、合計約**256人分**:バス**7台**。
- 各事業所の従業員の避難方法については各事業所単位で周知(施設敷地緊急事態で、自家用車により帰宅)。

	想定対象人数 [※]	必要車両台数	備考
自家用車で避難ができない住民	約 84人	3台	1台のバスが複数箇所をまわり乗車 1台当り45人程度の乗車を想定 【資料P34】
観光施設から避難する一時滞在者	約 135人 (1,343人×0.1)	3台	バス1台当り45人程度の乗車を想定 1日あたりの観光客数1,343人のうち、9割以上が自家用車で訪問している(『平成27年度観光客入込調査 おおい町』)ことを踏まえ、その1割を想定対象人数として算入。 【資料P35】
海水浴場から避難する一時滞在者	約 37人 (366人×0.1)	1台	バス1台当り45人程度の乗車を想定 1日あたりの海水浴客約366人のうち、9割以上が自家用車で訪問している(『平成27年度観光客入込調査 おお』)ことを踏まえ、その1割を想定対象人数として算入。 【資料P36】
合計	約256人	7台	

※ 数字は現段階で地方公共団体が把握している暫定値

※2 民間企業に勤務する就労者は、通勤に使用する自家用車もしくはバス等により避難

- 全面緊急事態発生時には、福井県嶺南地方のバス会社が保有する車両のほか、関西電力が配備する車両により、必要車両台数を確保。
- 車両及び運転手については、福井県バス協会等の協力により、更に余裕を持った台数・人数を確保。

		確保車両台数	備考
		バス	
(A) 必要車両台数		7台	
(B) 確保車両台数		計7台	
確保先	バス会社[福井県嶺南地方]	3台	保有車両台数 バス173台
	関西電力	4台	保有車両台数 バス9台

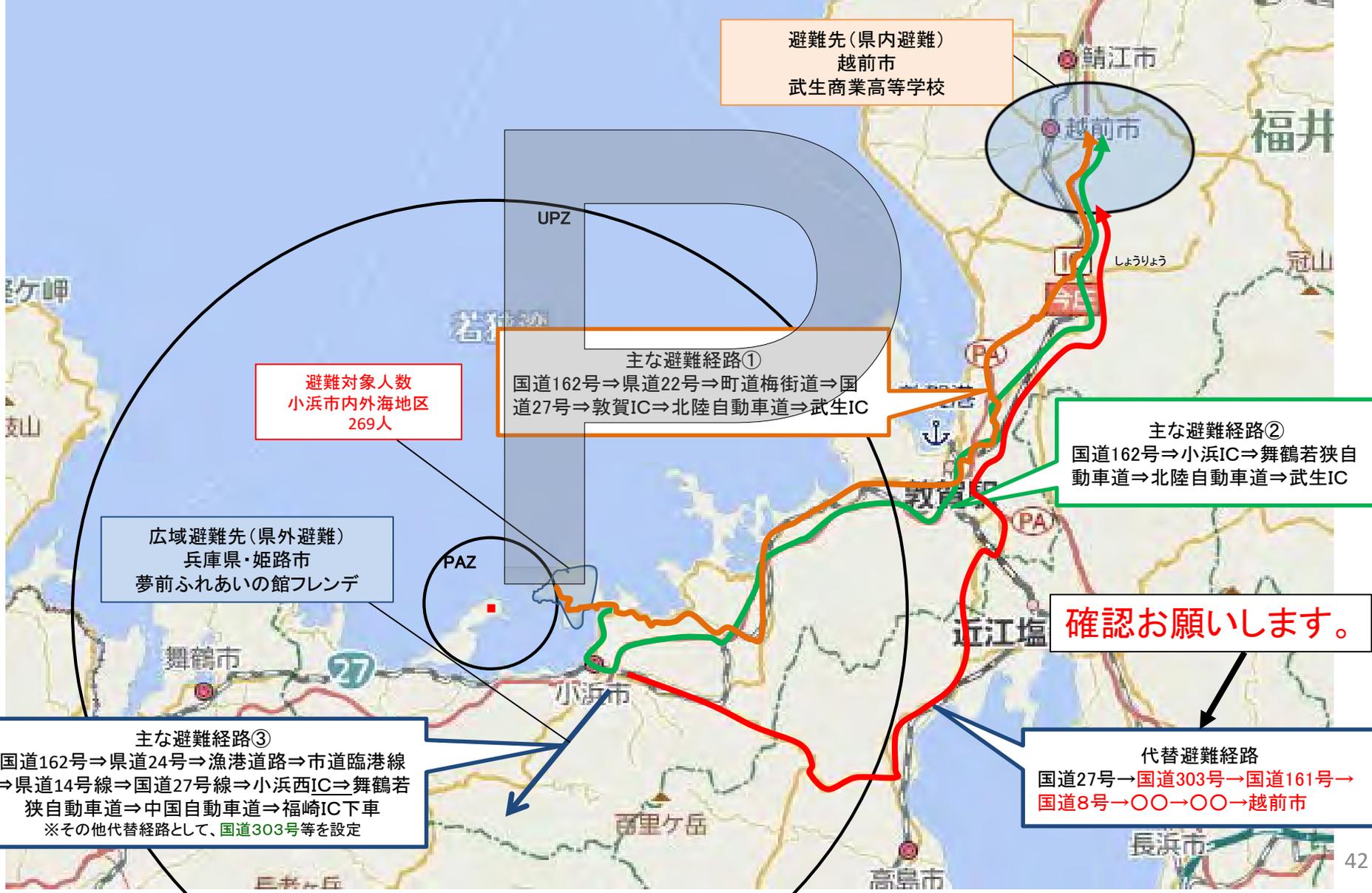
※1 不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合、実動組織(警察、消防、海保庁、自衛隊)に支援を要請

おおい町大島地区から避難先施設までの主な経路

➤ 地域毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等により避難経路が使用できない場合は、他のルートより避難を実施。



➤ 地域毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等により避難経路が使用できない場合は、他のルートより避難を実施。



避難先(県内避難)
越前市
武生商業高等学校

避難対象人数
小浜市内外海地区
269人

主な避難経路①
国道162号⇒県道22号⇒町道梅街道⇒国道27号⇒敦賀IC⇒北陸自動車道⇒武生IC

主な避難経路②
国道162号⇒小浜IC⇒舞鶴若狭自動車道⇒北陸自動車道⇒武生IC

広域避難先(県外避難)
兵庫県・姫路市
夢前ふれあいの館フレンド

確認をお願いします。

主な避難経路③
国道162号⇒県道24号⇒漁港道路⇒市道臨港線⇒県道14号線⇒国道27号線⇒小浜西IC⇒舞鶴若狭自動車道⇒中国自動車道⇒福崎IC下車
※その他代替経路として、国道303号等を設定

代替避難経路
国道27号⇒国道303号⇒国道161号⇒国道8号⇒○○⇒○○⇒越前市